

YP-600

NATURAL SOUND SYSTEM MODEL YP-600
GUIDE MANUAL

ヤマハステレオレコードプレーヤーシステム

取扱説明書



 **YAMAHA**

● ご挨拶

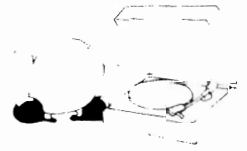
このたびはヤマハステレオレコードプレーヤーYP-600をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

プレーヤーの基本的性能の一つであるワウ・フラッターを極限まで抑えた超重量級ターンテーブル、高S/Nを実現したダブルフローティングシステム、共振を抑えた堅牢なキャビネット等で構成された高級ベルトドライブプレーヤーです。

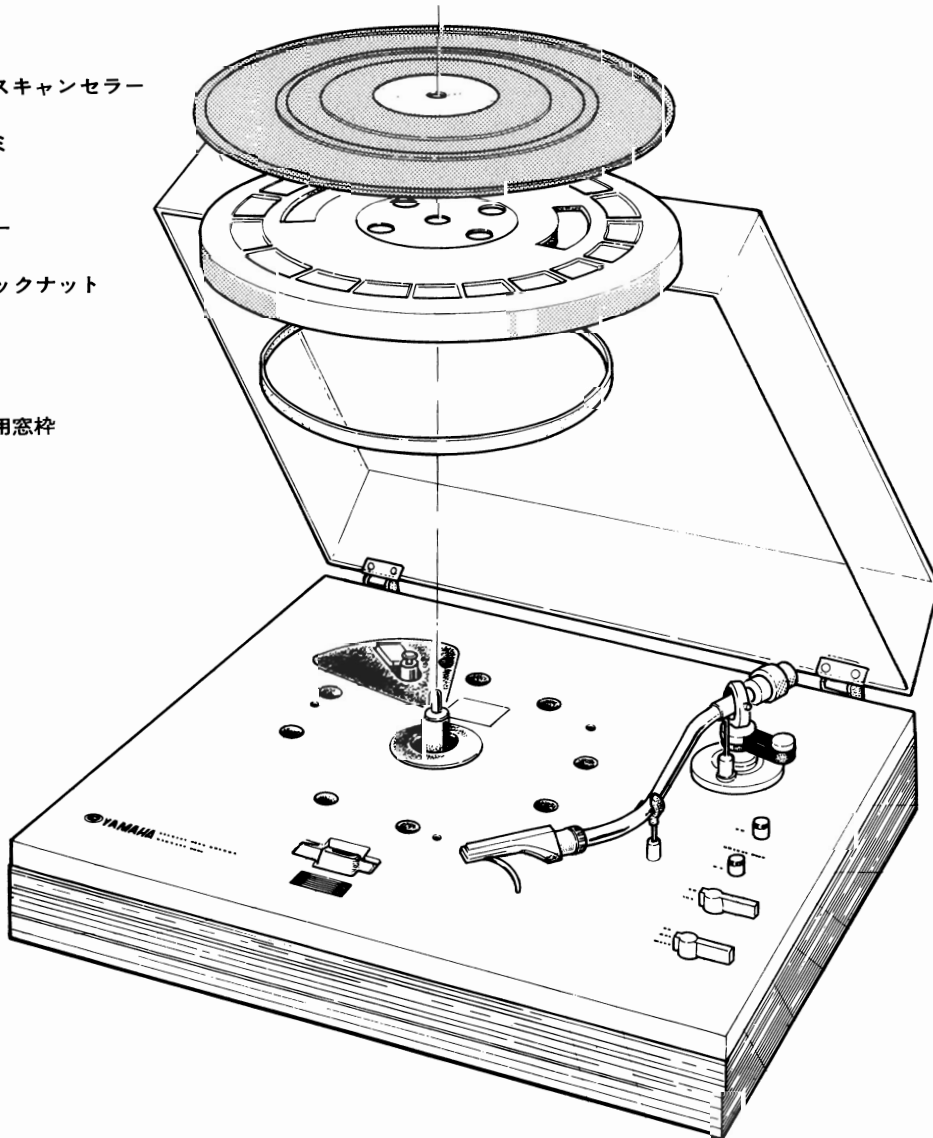
YP-600を長年にわたってお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に是非お読みくださいますようお願いいたします。

● 目次

プレーヤー各部の名称	3
規格・付属品	4
特長・ご使用になる前に	5
プレーヤーの組立にあたって	6
ターンテーブルの取付・トーンアームの組立	7
トーンアームの組立・調整	8
トーンアームの調整・オーディオアンプへの接続	9
レコード演奏のしかた	10
アクリルカバーの取付け・取外し	11
故障と思われる時には	12
サービスのご依頼について	13



- ① ゴムシート
- ② ターンテーブル
- ③ 駆動用ベルト
- ④ アクリルカバー
- ⑤ メインウェイト
- ⑥ ウェイトカラー
- ⑦ インサイドフォースキャンセラー
- ⑧ アームリフター
- ⑨ スピード調整つまみ
- ⑩ トーンアーム
- ⑪ アームレスト
- ⑫ スピード切換レバー
- ⑬ PLAYレバー
- ⑭ ヘッドシェル・ロックナット
- ⑮ ヘッドシェル
- ⑯ ヒンジ
- ⑰ モータープーリー
- ⑱ 輸送用固定ネジ
- ⑲ ストロボスコープ用窓枠
- ⑳ ストロボ





●規格

■ターンテーブル

モーター ACサーボ
 ターンテーブル径 30cm垂鉛ダイキャスト2.8kg
 回転数 33 $\frac{1}{3}$ 45rpm 2スピード
 駆動方式 ベルトドライブ
 SN比 60dB以上
 ワウフラッター 0.035%以下

針圧調整機構 直続方式 0 ~ 3 g(0.5gステップ)
 インサイドフォースキャンセラー 直続目盛付
 アーム高さ調整範囲 ± 3.0 mm

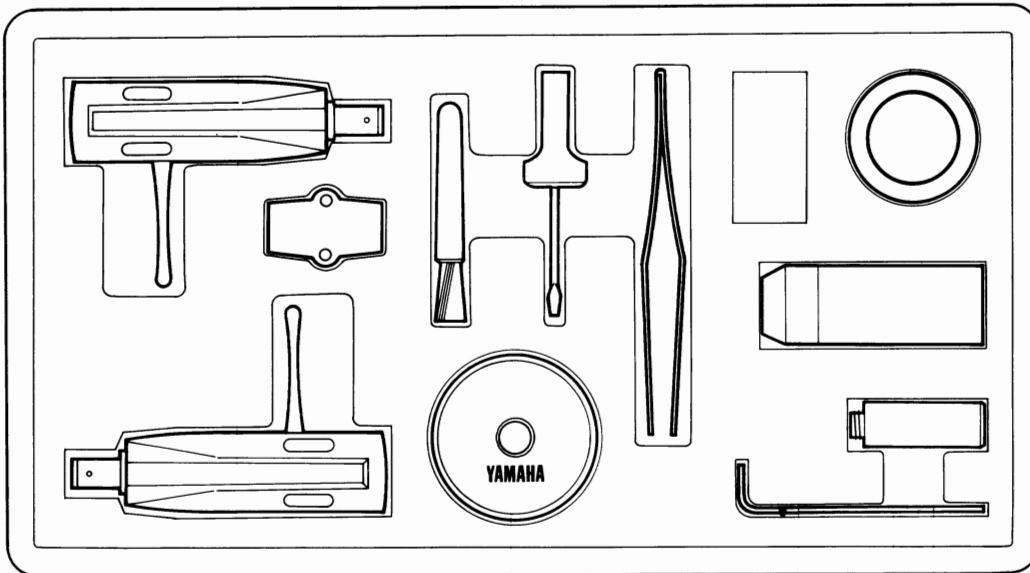
■その他

消費電力 10W
 寸法(W×D×H)mm 470×377.5×155
 重量 10.2kg

■トーンアーム

型式 S字スタティックバランス型
 トラッキングエラー角 $+2.7^{\circ}$ -1°
 全長/実効長 300/221.6mm
 オーバーハング 16.6mm
 ヘッドシェル 脱着可能EIA10.6g
 カートリッジ自重範囲 4 ~ 15g

●上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがございます。



- ① ヘッドシェル
- ② ウェイト板
- ③ 針先掃除用ハケ
- ④ ⊖小型ドライバー
- ⑤ ピンセット
- ⑥ ウェイトカラー
- ⑦ EPアダプター
- ⑧ メインウェイト
- ⑨ 六角レンチ
- ⑩ サブウェイト
- ⑪ ヘッドシェル付属品
 カートリッジ止めビス
 カートリッジ止めナット
 カートリッジ止めナイロンワッシャ

● 特長

- ACサーボモータを使用したベルトドライブ方式です。電源周波数の変更によるモータープーリーの取替えは必要ありません。
- 精度の高い工作技術で仕上げられた亜鉛ダイキャストのターンテーブルは2.8 kgの自重があり、慣性能率が大きくワウフラッターを極限まで抑えています。
- ミラー式ストロボスコープにより正確な回転を確認でき、スピード切換えはレバー式スイッチにより手軽に操作できます。
- 明るい新しい感覚の仕上げは、人間工学を追求した操作性とともにオーディオの世界に大きく先行するヤマハならではのデザインです。

● 次のことにご注意ください

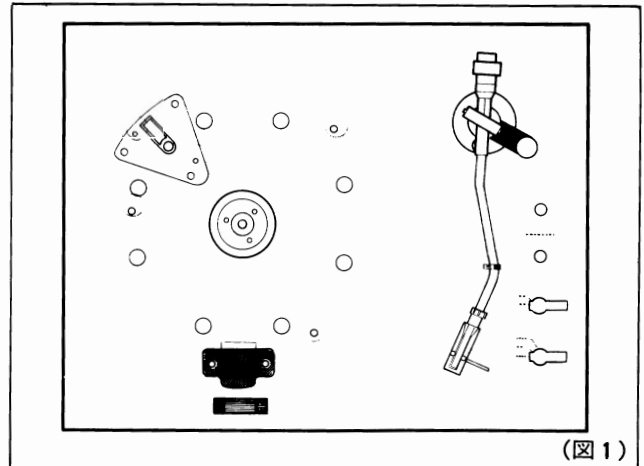
- 電源電圧は定格の100 Vでご使用ください。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所に設置することは避けてください。
- スピーカーシステムの近くや振動の多い場所に設置するのは避けてください。床や台はなるべくしっかりした場所を選んで水平に設置してください。
- オーディオアンプと並べて設置する場合はYP-600を右側にするようにしてください。
カートリッジの近くにアンプの電源トランスが位置すると、誘導ハム（雑音）を生ずることがあります。
- キャビネットを清掃する場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。シンナー系の溶剤は使用しないでください。
- アクリルの上蓋を清掃する場合は、付属のポリシングクロスまたは同系の柔らかい布で乾拭きしてください。
- お買い上げいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。
保証書に販売店印がありませんと、万一サービスの必要がある場合、保証期間中でも実費をいただくこととなりますので充分ご注意ください。よろしくお願いいたします。



● 輸送用固定ネジの取外し

輸送中の振動や事故からプレーヤーを保護するため、5ヶ所を輸送用固定ネジで固定してあります。この5本のネジ(赤)をご使用になる前に必ず取外してください。(図1)

取外したネジは、引越しや修理依頼で再輸送する場合に固定用として必要になりますので、保存しておいてください。(図2)



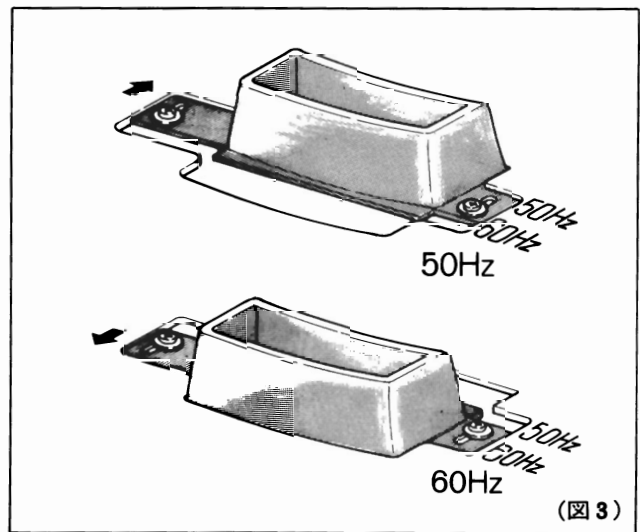
(図1)



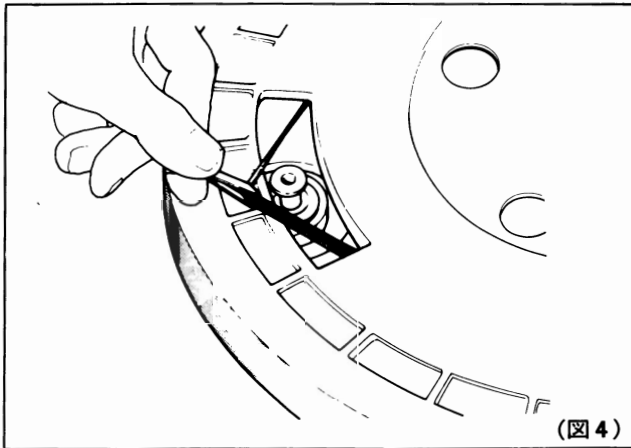
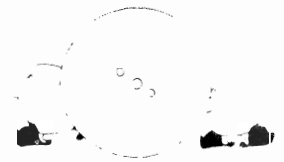
(図2)

● ストロボスコープ用窓枠の確認

ご使用になる電源周波数(50Hz/60Hz)とストロボ用窓枠の位置関係は右図のようになっていますので確認してください。移転などで、電源周波数の異なる場所でお使いになる場合は、枠の両側のネジをゆるめ、ご使用になる周波数の位置へスライドさせて再びネジを固定してください。(図3)



(図3)

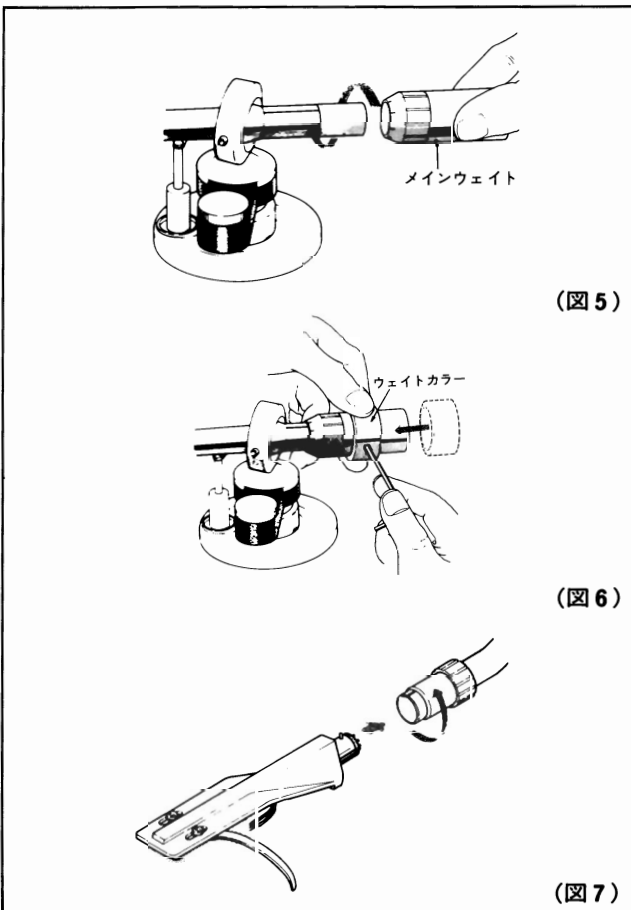


(図4)

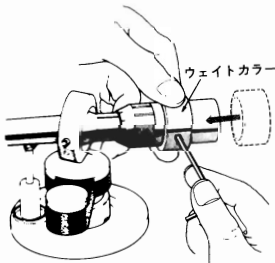
● ターンテーブルの取付けとベルトのかけ方

駆動用ベルトはターンテーブルの下側にリボンが付いたままの状態に梱包されています。

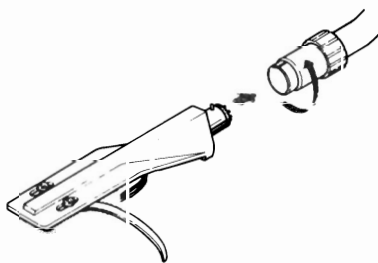
- ① ターンテーブルをセンターシャフトにはめ込みます。
- ② 図のように、ベルトにはさまれているリボンをターンテーブルの窓から引張り、ベルトを伸ばしてモータープーリーにかけ、リボンを外します。(図4) (この時ベルトがよじれていないことを確認して下さい。)
- ③ ターンテーブルの上にゴムシートを乗せます。



(図5)



(図6)



(図7)

● トーンアームの組立

■ メインウェイト、ウェイトカラーの取付け

- ① メンテナンスボックスに梱包されているメインウェイトを図のようにトーンアーム尾部に矢印の方向に回しながら押し込みます。(図5)
- ② ウェイトカラーを図のようにメインウェイトの長さの(2分の1より前方)ピボット側へ差し込んで下さい。(動きがスムーズでない場合はネジを調整して下さい。)(図6)
- ③ メインウェイト内部に刻まれたラセン溝とアーム尾部のストッパーがかみ合い、メインウェイトを回すとスムーズに前後に移動するようになります。

■ ヘッドシェルの取付

図のように、ヘッドシェルの尾部をトーンアーム先端のソケットへ、ヘッドシェルのピンとトーンアームソケットのスリットを合わせて差し込み、トーンアーム先端のロックナットを矢印の方向へ回してしっかり固定します。(図7)

トーンアームの組立・調整

■カートリッジの取付・接続

- ①カートリッジは図の要領でヘッドシェルへ取付けてください。

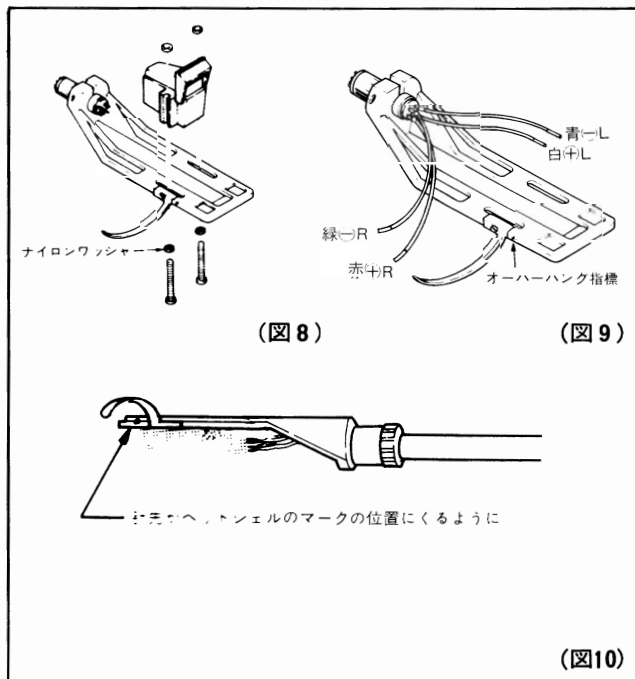
(図8)

カートリッジによってはその形状により取付方法が異なる場合がありますので、必ずカートリッジの取扱説明書を参照してください。

- ②ヘッドシェル内側のリード線は図のように色分けしてありますから、カートリッジの説明書に従って正しく接続してください。(図9)

■オーバーハングの調整

トーンアームのオーバーハングは16.6%に設計されています。カートリッジの取付穴が楕円になっていますので取付けるカートリッジの針先がヘッドシェルのオーバーハング指標の位置になるように取付けてください。(図10)



●トーンアームの調整

- ①PLAY&STOPレバーを「PLAY」の位置にセットし、インサイドフォースキャンセラーを「0」にセットします。

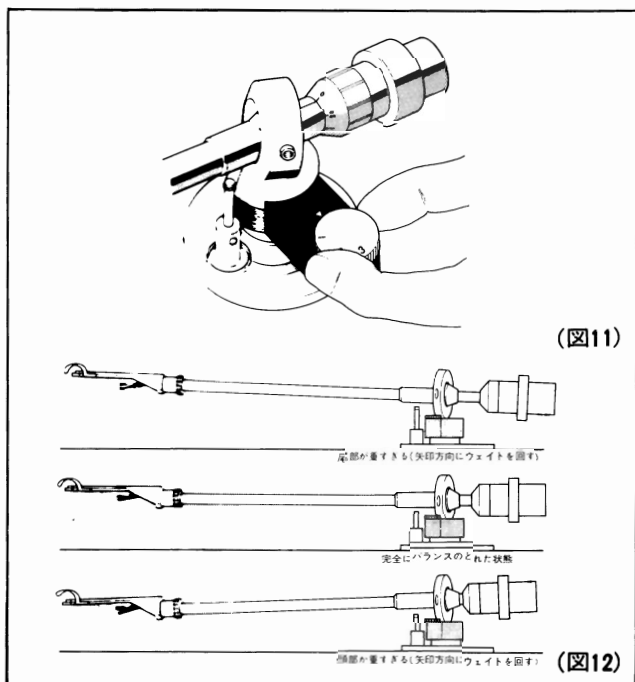
(図11)

- ②トーンアームをアームレストから外し、メインウェイトを回してトーンアームが水平にバランスするようにします。

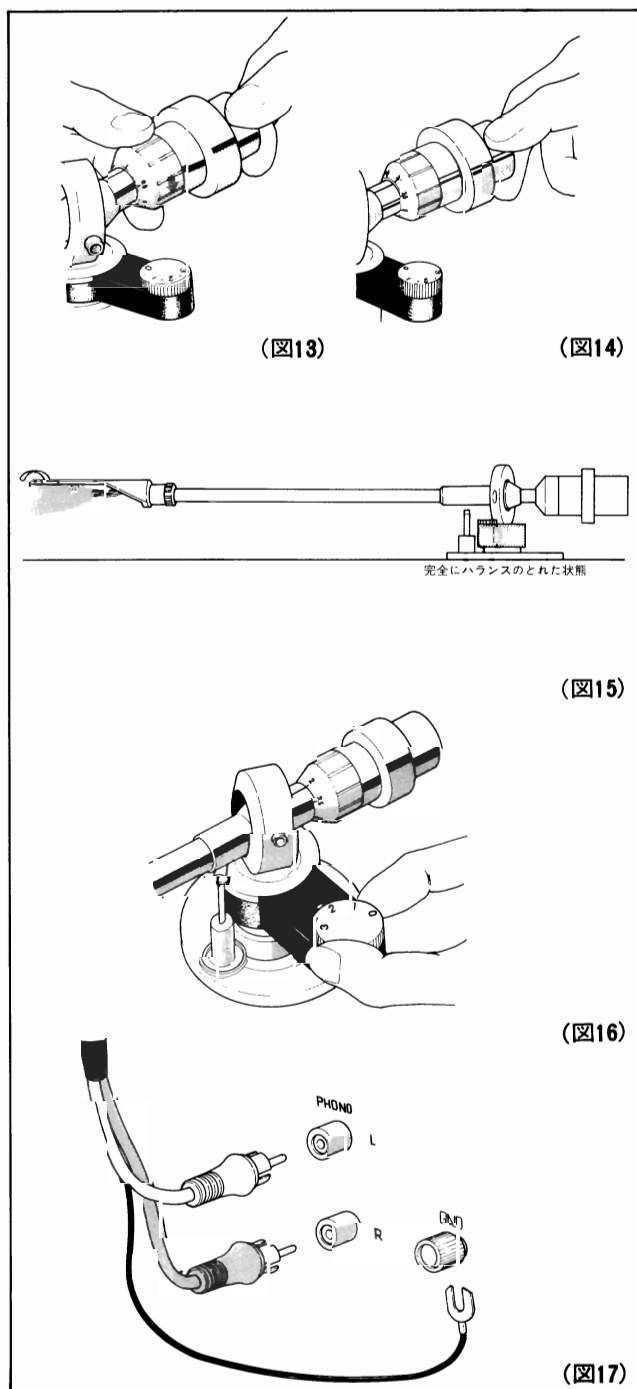
(図12)

- ③トーンアームが水平にバランスしましたら、アームをアームレストにもどしメインウェイトを回さないようにしてカウンターウェイトの目盛「0」をアームの基準線に合わせます。この状態で針圧ゼロとなります。(図13)

- ④メインウェイトを回しますとカウンターウェイトも同時に回りますから、使用するカートリッジの指定の針圧目盛までメインウェイトを回します。(図14)



トーンアームの調整・オーディオアンプへの接続



■ トーンアームの高さ調整

カートリッジの使用によりトーンアームがレコード面と水平がとれない場合調整してください。

ターンテーブルにレコードをセットし、針先をレコード面におろした時、アームとレコード面が平行になる様に付属の六角レンチで軸受部の固定ネジ2本をゆるめ、シャフトを上下して下さい。平行がとれましたら、固定ネジ2本をしっかり締めてください。(図15)

(注)この調整は針先及びレコード面を傷める恐れがありますので、調整はアームをアームレストにもどした状態で行なって下さい。

STOP状態の時、針先の高さがレコード面より5～8mmになる様、アームリフターのネジを調整します。

トーンアームの平行調整が終了したら、トーンアームをアームレストに戻し、アームレストの高さをアームがプレーヤーボードと平行になる位置に調整して下さい。

● インサイドフォースキャンセラーの調整

インサイドフォースキャンセラーは、お使いになっているカートリッジの針圧と同じ目盛に合わせます。例えば、針圧2gでお使いになっている場合は、キャンセラーノブの目盛「2」を▷印に合わせてください。(図16)

● オーディオアンプへの接続

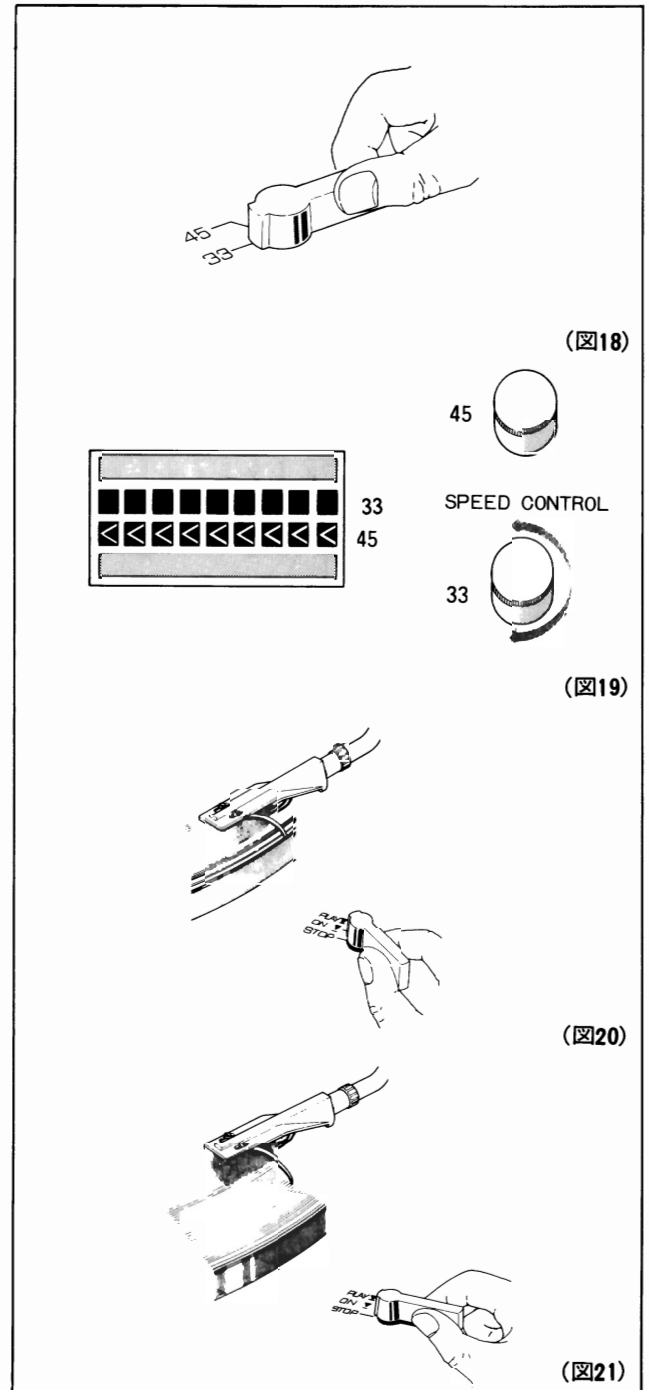
- ① キャビネット背面より出ている出力コードのL・Rを間違えないように、アンプのPHONO端子へ接続します。ピンプラグ白がLチャンネル、赤がRチャンネルです。
- ② 出力コード先端より出ている黒のアース線をアンプのGND端子へ接続します。このとき、場合によってはGNDは接続しない方が雑音に対してよい場合があります。(図17)
- ③ プレーヤーの電源コードをACコンセント(またはアンプリアパネルのACコンセント)に接続します。

レコード演奏のしかた

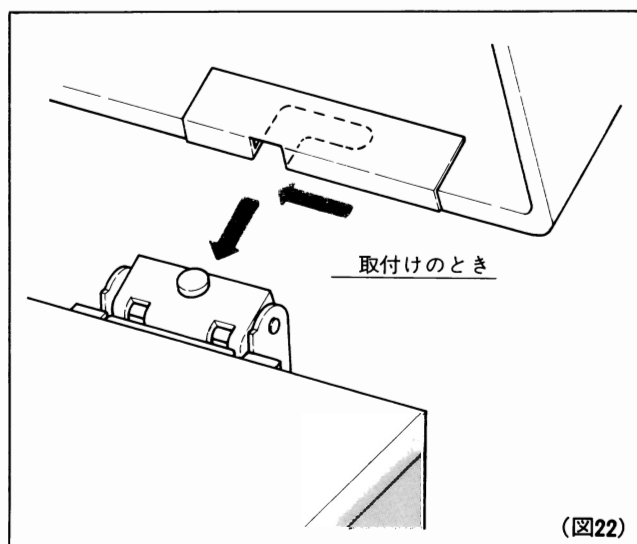


●レコード演奏のしかた

- ①接続したオーディオアンプのファンクションスイッチをPHONOにします。
- ②演奏するレコードをターンテーブルに乗せます。レコードが45回転ドーナツ盤の場合は、付属のEPアダプターをセンターシャフトへセットします。
- ③PLAYレバーをON (▼)にセットしますと電源が入りターンテーブルが回転を始めます。
- ④スピード切換レバーをレコードの回転数に合わせます。(図18) このとき、ストロボ表示窓から見てストロボが流れているときはSPEED CONTROLつまみを回してストロボが止まるように調整してください。ストロボは回転が速すぎる場合は左側へ、遅すぎる場合は右側へ流れます。(図19)
- ⑤ヘッドシェルの指かけを持ってトーンアームをアームレストから外し、レコードの上に持っていきます。
- ⑥PLAYレバーを「PLAY」(▼)にセットしますとトーンアームが静かに盤面に下がり、レコード演奏が始まります。(図20)
- ⑦演奏終了時または途中で演奏を中止する場合はPLAYレバーを「ON」(▼)の位置にしますと、トーンアームが盤面から上がります。レバーをSTOPの位置にしますとモーターが停止します。指かけを持ってトーンアームをアームレストまで戻してください。(図21)



アクリルカバーの取付け・取外し



●アクリルカバーの取付けと取外し

アクリルカバーは脱着可能になっていますのでご希望により取外してご使用になることができます。出荷時にアクリルカバーは本体より取外されて梱包されていますので図22のように突起と溝を合わせて矢印方向に押しながら取付けてください。又取外すときは取付けるときの逆の操作をすれば簡単に取外しができます。(図22)

故障と思われる時には……………

本機をご使用中に正常に動作しなくなった時は、次の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは疑

問の点がございましたら、お買上げ店又は日本楽器各支店のオーディオサービス係にサービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
PLAY レバーを操作してもターンテーブルが回転しない	電源コードが電灯線コンセントにしっかり差込まれていない	コンセントにしっかり差込みなおす
	ベルトをかけ忘れている	ベルトをモータープリーにかける
	ベルトがはずれている	ベルトをターンテーブル、モータープリーにかける
	ベルトが切れている	ベルトを交換する
レコード面に針先を降ろしても音が出ない	アンプとの接続が不完全	ピンコードの接続を確認する
	取り付けカートリッジの寸法が適切でないため、カートリッジの下部がレコード面に擦っている	適切な寸法のカートリッジに付けなおす ("カートリッジの取付・接続"の項参照)
ターンテーブルの回転が遅かったり、回転ムラ(ワウ・フラッター)が起こる	ターンテーブル外周やモータープリー、ベルトなどに油が付着してスリップしている	油などで汚れている部分を四塩化炭素(薬局で売っています)などで、きれいに清掃する
	ベルトが伸びている	ベルトを交換する

スピーカーからモーター音が聞こえる	プレーヤー組立の際に輸送用固定ネジ5本を取り除いていない	輸送用固定ネジを取り除く ("輸送用固定ネジの取外し"の項参照)
再生音がひずんでいて聴きにくいまたは、"チリチリ""パチパチ"という音がしたり、特に高音域がひずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている	水平に設置しなおす
	針先にホコリなどが付着している	針先掃除ハケできれいにする
	針先が磨耗している	針先を交換する
	レコード自体が傷んでいたり、ホコリやゴミがついている	レコードを新しいものと交換してみる
	針圧が軽すぎるか、重すぎる	使用カートリッジの適正針圧に調整し直す
	接続しているアンプの高音(TREBLE)を上げすぎている	高音(TREBLE)をFLATポジションに戻してみる

レコード演奏のとき、"ブーン"というハム音が入る	プレーヤーのアース線をアンプのアース端子に接続していない	アース線をアース端子に接続する (接続しない方がいい場合もある)
再生音がふるえたり、ハウリング("ボウーン"という音)を起して聴きにくい	プレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定で、振動が伝わったり、共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてみる
	接続しているアンプの低音(BASS)を上げすぎている(あるいはラウドネスをかけすぎている)	低音(BASS)をFLATポジションに戻してみる (ラウドネスを絞るかOFFにする)
	狭い部屋で極端に再生音を大きくしている	VOLUMEを絞って再生音を小さくする

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオサービス係へお願い致します。

■支店への持込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上店又は最寄りのヤマハ各支店へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得ですし短時間でおなおしすることができます。裏表紙のヤマハ各支店の住所と電話番号をご参照ください。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか？”とお思いになる点がございましたら、まず“故障と思われる時には……”の項をお読みになってください。故障ではなく、ご自分でかんたんになおしになれる場合もあると思います。（ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障ではない場合でも点検代と出張費を頂戴させていただきます）

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、お住まい、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。（ステレオの具合をもう少しくわしくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によってお約束を変更しなければならぬようなときに、お客様にご迷惑をおかけしなさいです）

■故障の状態はくわしく

サービスをご依頼なさるときは、故障の状態をできるだけくわしくお知らせください。またステレオの型番、製造番号などもあわせてお知らせください。（サービスにお伺いする際、あらかじめ補修部品などを手配し、二度お伺いしなければならぬようなご迷惑をおかけすることがありません）

■サービスのお約束

お仕事の関係で昼間ご不在がちなお客様や留守勝ちのお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂

きたく存じます。万一、お約束した日時にご都合が悪くなられましたら、できるだけおはやくご連絡くださるようお願い致します。（事前にご連絡をいただきませんと、ご不在の場合でも、出張料を頂戴いたしますので、ご注意ください）

■保証期間の1カ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施致します。尚補修用性能部品の保有期間は8年となっております。

■万一お買上店でのサービスについてのご不満又は製品の不調や疑問がございましたら、ご面倒ではございますが、下記ヤマハ各支店オーディオサービス係にご連絡くださいますようお願い致します。

■各支店住所（オーディオサービス係）

本社・〒430	浜松市中沢町10-1(ステレオサービス課) TEL (0534)61-1111(不代表)
東京支店・〒104	東京都中央区銀座7-9-18(パールビル内) TEL (03)572-3111
大阪支店・〒564	吹田市新芦屋下1-16 TEL (06)877-5151
名古屋支店・〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052)201-5141
九州支店・〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092)431-2151
北海道支店・〒064	札幌市中央区南十条西一丁目(ヤマハセンター内) TEL (011)512-6111
仙台支店・〒980	仙台市一番町2-6-5 TEL (0222)27-8511
広島支店・〒730-01	広島市紙園町西原862(技術センターニシルク内) TEL (08287)4-3787
浜松支店・〒430	浜松市鍛冶町122 TEL (0534)54-4111

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430・浜松市中沢町10-1 TEL・0534(61)1111	神戸店	〒650・神戸市生田区元町通り2-188 TEL・078(321)1191
東京支店	〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL・03(572)31111	四国店	〒760・高松市丸亀町8-7 TEL・0878(51)7777
銀座店	〒104・東京都中央区銀座7-9-14 TEL・03(572)3111	名古屋支店	〒460・名古屋市中区錦1-18-28 TEL・052(201)5141
渋谷店	〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7 TEL・03(463)4221	九州支店	〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL・092(431)2151
池袋店	〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL・03(981)5271	福岡店	〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL・092(721)7621
横浜店	〒220・横浜市西区南幸2-15-13 TEL・045(311)1201	小倉店	〒803・北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL・093(531)4331
ジョイナス ヤマハ店	〒220・横浜市西区南幸1-5-1 TEL・045(311)6361~4	北海道支店	〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL・011(512)6111
千葉店	〒280・千葉市中央4-2-1/まつだやビル内 TEL・0472(24)6111	仙台支店	〒980・仙台市1番町2-6-5 TEL・0222(27)8511
大阪支店	〒564・吹田市新芦屋下1-16 TEL・06(877)5151	広島支店	〒730・広島市紙屋町1-1-18 TEL・0822(48)4511
心斎橋店	〒542・大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL・06(211)8331	浜松支店	〒430・浜松市鍛冶町122 TEL・0534(54)4111
梅田店	〒530・大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階 TEL・06(345)4731	海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・ シンガポール・フィリピン